

データヘルス計画（案）及び特定健康診査等実施計画（案）
評価と次期計画策定について

運営協議会 (令和5年11月17日)	最終評価及び健康課題を報告 事業の実施結果等を運営協議会にてご報告させていただき 今後の事業のあり方についてご意見を伺いました。
------------------------------	---

事務局	各事業に対して評価を実施
	事業の実施結果等を踏まえ、 各事業に対して評価を行いました。

素案

65頁以降に評価結果
が掲載されています。

事務局	今後の方向性等を検討
	現時点でのレセプト・健診情報を反映させ、瀬戸市の 健康課題の状況を再分析しました。今後の事業の方向 性について事業内容等の見直しを行いました。

素案

第2章～第3章の
データを最新のものとし、
見直した結果を34～36
頁に記載しました。

確認いただきたいこと（第2期→第3期の主な変更点）

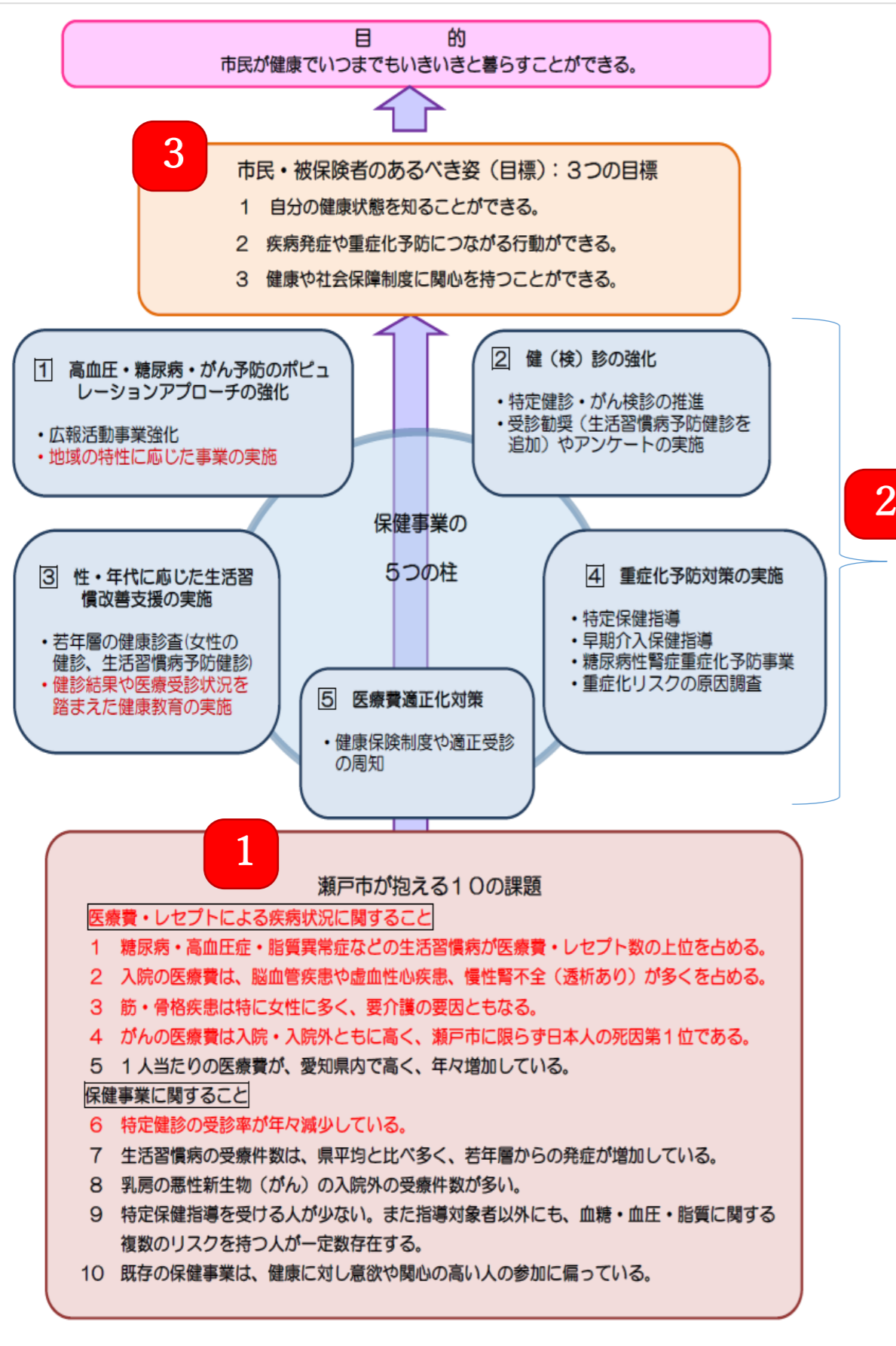
第3期計画は国による様式の標準化に伴い、健康課題等を新たに設定しています。
次の参考資料1・2は該当部分を**素案**から抜粋しましたのでご確認ください。

なお主な変更点は、

- ①「瀬戸市が抱える10の課題」を疾病等の4つにまとめました。
(参考資料1 1 → 参考資料2 1)
- ②「保健事業の5つの柱」と38事業について、事業の見直しを行い、
似通った内容や細かい項目をまとめ、14事業で評価します。
(参考資料1 2 → 参考資料2 2)
- ③「計画全体の目標」でも評価ができるよう、それぞれ目標値を設定し評価します。
(参考資料1 3 → 参考資料2 3)

運営協議会 (令和6年1月26日)	評価と次期計画の報告 上記「確認いただきたいこと」を踏まえて、取りまとめた内容や課題と目標の設定が適切かご意見を伺います。
-----------------------------	---

第2期計画 中間評価時 (素案 34・65 頁)



No	保健事業の5つの柱	市民のあるべき姿	事業	担当課	
1	1	2	3	広報事業	健康課・国保年金課
2	1	3	3	講演会・イベント	健康課
3	1		3	めたぼうし体操の普及活動	健康課
4	1		3	せと健康マイレージ	健康課
5	1		2	保健推進員活動	健康課
6	1		2	健康づくり食生活改善推進員活動	健康課
7	1		2	せといきいき健康グルメ	健康課
8	2		1	特定健康診査	国保年金課
9	2	3	1	瀬戸市国保生活習慣病予防健康診査(短期人間ドック)	国保年金課
10	2		1	特定健康診査受診率向上対策(勸奨事業)	国保年金課
11	2		1	生活習慣病予防健康診査(短期人間ドック)受診率向上対策	国保年金課
12	2		1	歯科事業	健康課
13	2		1	女性の健康診査	健康課
14	2		1	がん検診(1)がん検診受診率向上対策	健康課
15	2		1	がん検診(2)がん検診精度管理	健康課
16	2		1	がん検診(3)肺がん検診	健康課
17	2		1	がん検診(4)胃がん検診	健康課
18	2		1	がん検診(5)大腸がん検診	健康課
19	2		1	がん検診(6)子宮頸がん検診	健康課
20	2		1	がん検診(7)乳がん検診	健康課
21	2		1	がん検診(8)前立腺がん検診	健康課
22	3		2	健康教育(母子)	健康課
23	3		1	健康相談	健康課
24	3		2	健康教育(成人1:年齢別習慣別運動教室)	健康課
25	3		2	健康教育(成人2:食事・栄養関連教室)	健康課
26	3		2	健康教育(成人3:外部依頼による健康教室)	健康課
27	3		1	学童期生活習慣病対策健診事業	健康課
28	3		1	訪問指導	健康課
29	4		2	減塩プロジェクト 減塩のための栄養指導教室	健康課
30	4		2	特定保健指導(動機付け支援)	国保年金課
31	4		2	特定保健指導(積極的支援)	国保年金課・健康課
32	4		2	重症化予防事業(早期介入保健指導)	国保年金課
33	4		2	糖尿病性腎症重症化予防事業(受診勧奨事業)	国保年金課・健康課
34	4		2	糖尿病性腎症重症化予防事業(保健指導事業)	国保年金課・健康課
35	5		3	ジェネリック医薬品知識普及、差額通知	国保年金課
36	5		3	医療費通知	国保年金課
37	5		3	重複多受診者保健指導	国保年金課
38	5		3	健康保険制度・適正受診の周知	国保年金課

第3期計画（素案 40～41 頁）

1 健康課題		優先する健康課題	対応する保健事業番号
A	<p>【生活習慣病の増加と重症化】 「大動脈瘤・解離」の標準化死亡比が男女ともに100を超えており、女性では「脳梗塞」が高い。また糖尿病の医療費が高く、高血圧症のレセプト件数が高い。10万人当たりの人工透析患者数は国保・後期とも県より多い。特定健診の受診率が低下しており、生活習慣病の早期発見・早期治療につながらない可能性がある。</p>	✓	1 2 3 4 5 9 10 11 13
B	<p>【がんの増加】 標準化死亡比で100を超えるがんは、男女ともに「胃がん」「気管・肺がん」である。また、「大腸がん」「乳がん」「胃がん」「肝がん」「子宮体がん」1人当たり医療費は、「平成30年度」と比較して「令和4年度」が増加している。</p>		8
C	<p>【要介護・フレイルの増加】 女性の「筋・骨格」に関する医療費が高い。1人当たり医療費（入院外）で「筋骨格系及び結合組織の疾患」が県より高い。</p>		5 11 12 13
D	<p>【1人当たり医療費等の増加】 県下38市の国保にて「総医療費（療養の給付等+療養費等）」「入院外」「入院外+調剤」で費用額が高い。</p>		6 7 14

計画全体の目的 市民が健康でいつまでもいきいきと暮らすことができる。

3 計画全体の目標	計画全体の評価指標	指標の定義	計画策定時実績	目標値							
			2022 (R4)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)		
i	健康寿命（平均自立期間）の延伸がみられる。	平均寿命（0歳平均余命） ・健康寿命（平均自立期間要介護2以上）	平均寿命（0歳平均余命）の増加分を上回る健康寿命（平均自立期間）の増加であること。 KDB「地域の全体像の把握」	(R2年度) 【男性】 平均余命82.4歳 平均自立期間81.0歳 【女性】 平均余命87.6歳 平均自立期間84.6歳							平均寿命（0歳平均余命）の増加分を上回る健康寿命（平均自立期間）の増加
ii	特定健康診査受診率が向上する。	特定健康診査の受診率	法定報告	R3年度 41.0%	50%	52%	54%	56%	58%	60%	
iii	重症化による新規人工透析移行者が減少する。	透析新規移行者の減少	特定疾病申請書にて透析を把握	12人	前年度より減少	前年度より減少	前年度より減少	前年度より減少	前年度より減少	前年度より減少	前年度より減少
iv	がん検診の受診率が向上する。	がん検診の受診率	各種検診にて評価								
v	介護予防・フレイル予防に努める。	ポピュレーションアプローチの実施回数	ポピュレーションアプローチ（通いの場等におけるフレイル予防のための保健指導・啓発等）の実施回数は、国民保健の向上及び福祉増進が図られていることを示す数値	100回	100回	100回	100回	100回	100回	100回	100回
vi	1人当たり医療費の国との差が減少する。	1人当たり医療費（入院、入院外、歯科）	図8の被保険者1人当たり医療費【国保】	入院158円 入院外1,988円 歯科344円							計画策定時と比べて減少する

事業番号	事業分類	個別事業	重点・優先度
1	特定健康診査	特定健康診査	重点
2	特定保健指導	特定保健指導	重点
3	重症化予防（受診勧奨）	糖尿病性腎症重症化予防事業（医療受診勧奨）	重点
4	重症化予防（受診勧奨）	糖尿病性腎症重症化予防事業（保健指導）	重点
5	後発医薬品利用促進	ジェネリック医薬品利用差額通知	
6	重複・頻回受診、重複服薬者対策	重複・頻回受診、重複服薬保健指導	
7	健康教育・健康相談	地域の健康教育・健康相談	
8	その他	がん検診	
9	その他	歯科健康診査	
10	その他	40歳未満の健診	
11	その他	健康のための社会環境づくり	
12	その他	高齢者の保健事業と介護予防のための一体的実施	
13	その他	健康情報発信	
14	その他	健康保険制度・適正受診	